

## 1. コロナウイルスについての基本的な情報

【主な感染経路】厚生労働省コロナウイルス Q&A より

## ○飛沫感染

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染。

※閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされている。(WHO は、一般に、5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶと報告)

## ○接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れてウイルスが付き、別の人がその物に触ってウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染。

※WHO は、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存するなどとしている。

【接触とは…】 北海道大学西浦教授より

「1m以内での2~3往復の会話」、「握手」、「電車で隣り合う」「肩をたたく」、など…

⇒ソーシャルディスタンス(2m程度)を取り、あまり近寄らないようにすることが大切になる。

【濃厚接触の定義】厚生労働省コロナウイルス Q&A より

- ・必要な感染予防策なしで、対面で1mの距離で15分以上の会話をしたもの。
- ・必要な感染予防策をせずに手で触れることをしたもの。

⇒万が一、感染者が出た場合には、濃厚接触者として、保健所等に報告することとなる。

以上の点を踏まえると…



大会の運営の中で、飛沫感染や、接触感染のリスクを完全になくすことはとても困難である。リスクを背負った上で、生徒の自己実現、表現の場を確保するために、最大限の予防対策を講じる必要がある。日本陸上競技連盟ロードレース再開についてのガイダンス及び、日本スポーツ協会のスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに基づき、さらに今大会の特性を踏まえた予防対策を行いたい。さらに、その予防対策について、生徒、保護者、顧問、関係者全員にしっかりと周知徹底し、理解してもらった上で、参加することが条件になる。



【ガイドラインのポイント】

- ①大会参加者及び関係者に対し、体調チェックを確実に行うこと。
- ②必要以上の『接触』をしない、させないような工夫。濃厚接触者を出さない。(指導&場所&時間)
- ③個人の予防対策(手洗い・洗顔等)を積極的に実施させる。(掲示&場所&動線)

## 2. 大会開催に当たっての準備・対応

### (1) 受付

- ・役員受付及び学校受付は、雨天走路に設置する。(換気を考慮しすべての窓を開放する。)
- ・TICは第4ゲート黒いフェンス内に設置する。
- ・受付の流れについては以下の通りとする。

#### ①【TICに書類提出】

選手(チーム全員分): JAAF健康管理チェックシート及び大会参加承諾書  
引率者: JAAF健康管理チェックシートを提出⇒ADと交換

#### ②【学校受付及び役員受付(雨天走路)】

出場校: ゼッケン・襷・プログラム購入分を受け取る。

役員: 当日の検温と体調を申告(名簿に記載)

- ・受付には、アルコール消毒と非接触の体温計を設置。並ぶ際のソーシャルディスタンスを促す目印を設置。
- ・監督会議または、申し込み時に抽選を行う。配布するものについては、事前に袋に詰めておき、当日は、速やかに受付が進むようにする。

### (2) 手洗い場所・トイレ

- ・手洗い場には、石鹸を用意する。手洗いを30秒以上促す掲示をする。
- ・トイレや手洗いに場所等、共有で使用する部分については、こまめに消毒する。  
(庶務及びマーシャル)
- ・選手及び役員は陸上競技場及び野球場のトイレ及び手洗い場を使用し、密集することがないように工夫する。また、一般利用者の方との接触を極力さける。

### (3) チーム陣地、待機スペースについて

- ・選手待機は、サイドスタンド(招集所を除く)を使用し、あらかじめゼッケン番号ごとに指定された場所にする。その他の場所には設置しない。密になることからテント等を使用は不可。
- ・チーム陣地を設置する際、他校との距離が2m以上開くようにする。
- ・女子はレース終了後、12時15分までに競技場外に出ること。
- ・原則、女子のレース終了後と男子入場までに会場入れ替え制を取り、接触機会を減らす。

### (4) ゴミの廃棄

- ・ゴミについては、必ず各自で持ち帰る。大会運営関係のゴミ以外は回収しない。

### (5) 大会関係者及び観客の入場制限・管理(大会会場への移動方法も含む)

- ・大会は無観客とする。
- ・大会会場には、選手(登録メンバー)及び引率者、競技役員以外は入れない。  
(保護者・応援生徒・付き添いの入場禁止)
- ・大会会場への交通手段については、各市町村教育委員会及び、所属長の方針に従う。極力、他校との接触をなくし、密にならないように配慮し、各校で生徒に指導する。  
ただし、会場までの移動手段(台数)は大会事務局に監督会議の際に報告する。  
貸し切りバス or 自家用車(現地集合の送迎) or 公共交通機関
- ・前日及び当日の宿泊は行わない。  
※大会としては全体の受付時間、スタート時間を遅らせて対応する。

#### 【沿道、応援への対応】

- ・保護者の応援は禁止することを、監督会議で伝達。HPにも掲載し、周知徹底を図る。
- ・参加承諾書に、保護者の観戦応援の禁止の内容を入れることで、事前に理解してもらう。

- ・人公園内に、AD を応援、観戦禁止の貼り紙をする。
- ・一般利用者もいるので、公園内事務所に定期的に全域放送をいれてもらう。
- ・監察員は、AD をつけていない方が立ち止まって応援していた場合、応援、観戦の禁止に協力してもらうように声をかける。

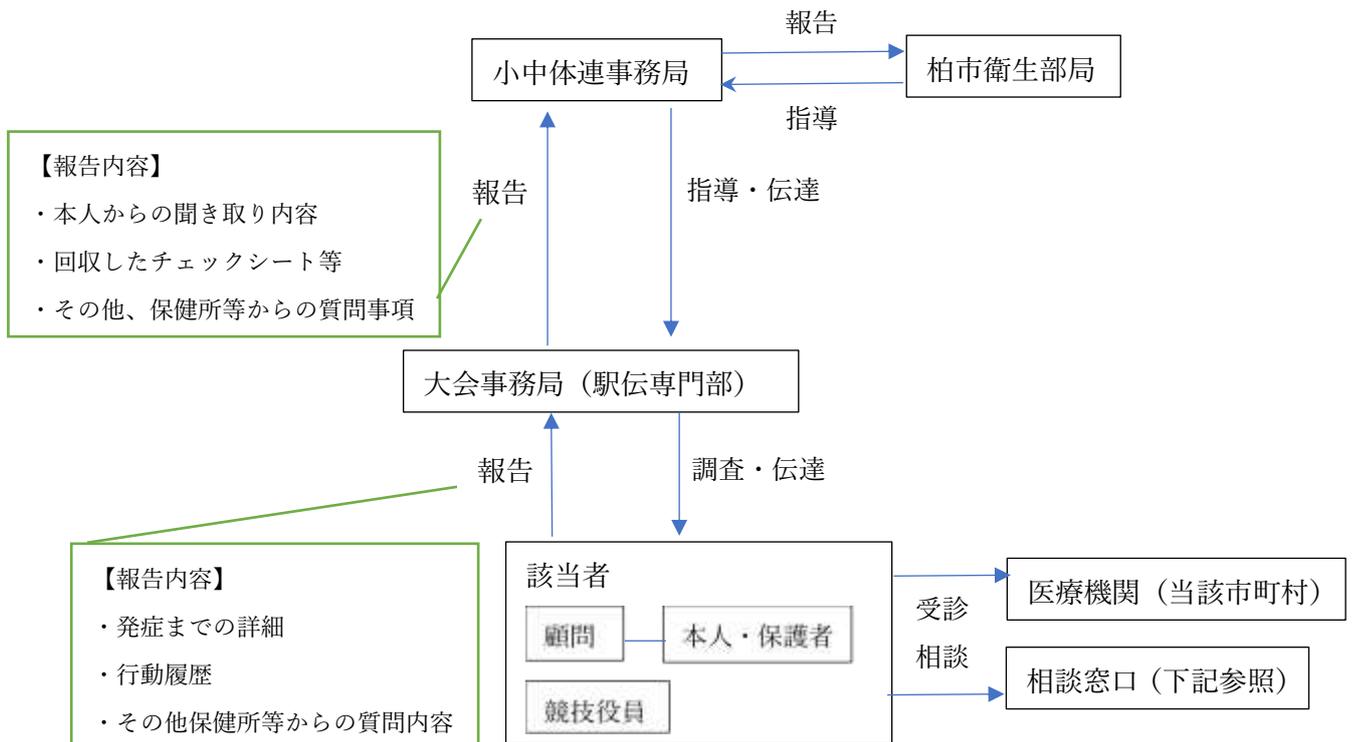
#### (6) 感染確認時の対応

- ・万が一大会開催日及び、大会終了後 2 週間の内に感染者が出た場合は、以下の手順に沿って対応をする

##### 【大会開催中】

- ・発熱等、感染の疑いがある症状が出た場合。
  - ①該当者（顧問）より、医務に相談。
    - ⇒別室（役員室②）に入れる。フェイスシールド等の予防対策をした医師が対応。
  - ②大会役員の医師の判断を仰ぐ。
    - ⇒場合によっては後方支援病院、相談窓口に連絡をし、対応を確認。
  - ③詳細を大会事務局より、小中体連事務局に報告⇒柏市衛生部局に連絡。

##### 【大会終了後 2 週間以内】



#### ●千葉県電話相談窓口（24 時間体制）（千葉県庁）

電話番号 0570-200-613 受付時間 24 時間（土日・祝日を含む）

#### ●柏市新型コロナウイルス感染症相談センター（帰国者・接触者相談センター）（柏市保健所）

電話番号 04-7167-6777 受付時間 平日午前 9 時から午後 5 時

- ・回収した体調管理チェックシート及び承諾書等の個人情報、感染が確認された場合のみ使用する。それ以外については、大会終了後 1 か月後に大会事務局が破棄する。

## (7) 競技運営上の対応

### ①コースについて

- ・中継所を、野球場前の広い場所とし、中継後コーンでコースを設定し、例年通りのコースに入る。(競技場も入って、逆走で1周しそのまま出ていく。)
- ・1区のスタートは、大駐車場と競技場の間の広い場所とする。  
1区のみ、競技場の中に入らず、外周を1周回った後、2周目の途中から園路に出る。
- ・男子2区~6区、女子2区~5区のコースは、中継所の位置を変更するのみで、選手が走るコースに変更はなし。

### ②W-upについて

- ・ウォーミングアップは、野球場、野球場外周及びコースを使用する。なるべく一般の利用者と接触がないように配慮する。(近くを通る際は、2m以上距離をとるなどの対応する)
- ・原則として、集団でのウォーミングアップやクールダウンは行わない。

### ③招集について

- ・バックスタンド中央(電光掲示板前)を招集場所とする。屋外なので、換気の必要はないが、さらに席を空けて、距離を取って座れるよう、会場づくりをする
- ・その際、荷物を詰める用のビニール袋に学校名と区間がわかる紙(大会事務局が用意)を見えるように入れさせ、荷物の自己管理を徹底させる。

### 【選手の動き】

- ①招集完了後、役員の指示で、最終荷物置き場に移動する。
- ②荷物を置いた後は、最終W-upエリアに移動。
- ③先頭がラスト1km通過の通告を受けたのちに、マスクを外して(自分の荷物袋に入れる。)最終待機場所へ移動する。
- ④中継所整理員の呼び出し(ラスト200m)+目視で、自分のチームの選手が来た時点で中継線に入る。  
※その際他の選手との距離を取るよう配慮する。中継所ライン24m内に1mごとのマークをつけておく。
- ⑤競技終了後(中継後)野球場内及び野球場前の手洗い場で、洗顔及び手洗いをを行う。
- ⑥手洗い、洗顔後、荷物置き場に戻り、速やかに自分のチームの陣地に戻る。

### ④中継所について

- ・中継所の密を防ぐために、中継所を競技場外、野球場前の広い場所で行う。  
通常の2倍の長さ(24m)を中継線として設置する。
- ・荷物置き場を学校ごとに設置し、マスク等を含めて、荷物が他のものと混ざることが防げる。
- ・最終待機を番号順に場所を指定することで、距離を取って待機できるようにする。
- ・招集から最終待機場所に入るまでは、選手間の距離が近くなることもあり得るので、マスクを着用させる。
- ・最終待機場所については、マスクを外しているため、話をさせずに待機。大きな声で仲間を呼ぶこともさせない。
- ・中継所役員は、呼び出し+中継時の安全確認+中継後の誘導を行う。中継線内には、なるべく入らない。
- ・1区から2区及び2区から3区への中継においては、事前に2mの間隔を取って互い違いに整列して、中継を待つ。番号順に並び、選手は事前に、渡す位置を把握しておく。

⑤競技終了後について

- ・中継後は外側に抜けて、野球場前及び野球場内の手洗い場で、手洗い洗顔をすぐに行わせる。
- ・荷物置き場に移動後、荷物をもって、自分の陣地に速やかに戻る。荷物置き場に留まらせない。

⑥開会及び閉会セレモニーについて

- ・開会セレモニーは行わない。
- ・閉会セレモニーは、賞状メダルの配布と、業者による写真撮影のみとする。※要検討  
※賞状メダルの配布場所は、競技場メインスタンド下とする。  
※時間についてはアナウンスする。

⑦記録掲示について

- ・記録は、アナウンス及び WEB での発表のみとする。記録掲示は行わない。

3. 参加者の遵守事項

【選手及び顧問・引率者】

(1) 健康観察及び受付

- ・選手及び引率者は大会当日の検温を含む JAAF 健康管理チェックシート(大会 1 週間前の検温と体調チェック)と大会出場承諾書(保護者の承諾と大会前日夜の検温・大会当日朝の検温)を顧問に提出する。

顧問は、学校受付時にチーム(選手及び引率者全員)の健康管理チェックシートと大会参加承諾書を提出する。

未提出者については参加することはできない。

※提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。(家庭でとってから提出)

- ・以下の選手は大会に参加できない。なお、そのチームの参加については、大会事務局と相談の上、判断すること。

①発熱があった場合

大会 1 週間前の健康チェックシートで 37.5℃以上の熱が 3 日以上続いた場合、必ず病院を受診し診断を受ける。コロナの感染がなく早い内に熱が下がった場合、保護者の判断で参加するかどうかを決定する。但し、大会 3 日前からの発熱(37.5℃以上)の場合は大会への参加はできない。大会当日の発熱(37.5℃以上)も参加できない。

②大会当日風邪の症状があった場合

③同居の家族や身近な知人に感染の疑いがある方がいる場合。

④過去 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域へ渡航又は、当該在住者と濃厚接触がある場合。

⑤大会開催日の 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手、チームは参加を辞退する。

※保健所から濃厚接触者と認められた場合、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場はしても構わない。

⑥大会開催 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状(※5)が発症していた場合、原則当該選手は参加を辞退する。

但し、次の 1) および 2) の両方の条件を満たしている場合、大会への出場をしても構わない。1) 感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している。(発症日を 0 日として 8 日間) 2) 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも 3 日が経過している。(解熱後を 0 日として 3 日間のこと。)

※5 感染疑い症状とは ▼息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合▼「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合(症状が 4 日以上続く場合及び解熱剤などを飲み続けなければならない場合)

## (2) 大会開催中の注意

### ●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・選手は競技中以外はマスクを着用する。競技中には、マスクをしなくてもよい。ただし、必要に応じて、バフなどのマスクをしてもよい。その際、熱中症対策には十分に気を付ける。
- ・ウォーミングアップ時にマスクを外す場合には、人との距離を 2 m 以上離し、発声はしない。
- ※野球場外周及び東大側バス駐車場をウォーミングアップエリアとして開放する。蜜を避けるとともに、一般の利用者と接触をしないよう、気を付ける。
- ・中継所及びスタート付近(野球場と競技場の間)は、出場する選手以外立ち入らないこと。
- ・その他の場所で応援をする場合には、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保って行うこと。
- ・学校ごとアルコール消毒を持参し、適宜消毒を行う。こまめな手洗い、洗顔をする。
- ・競技終了後すぐに手洗い・洗顔を行い、その後に荷物のビニール袋をもって速やかに自分の陣地に移動する。荷物置き場周辺に留まらない。 ※招集時、中継時の動きについては別記参照。

### ●飲食・ゴミの処理

- ・ゴミは各自で持ち帰る。原則学校ごとにも共用のゴミ袋は作らない。
- ・飲み物、食べ物等は自分で持ってきたものとし、学校ごと共用しない。

### ●ソーシャルディスタンス

- ・大会中は他人と接触したり、マスクを着用しない状態で近距離(1 m 以内)での会話をしたりしない。 ※濃厚接触の定義を確認し、各校、各自で意識的に行動する。
- ・JOG などをしているときには、2 m 以上の距離を取るようにする。
- ・一般の利用者との接触をできる限り回避する。

(1) 基本事項

- ・ 65 歳以上の役員委嘱は、原則行わない。
- ・ 生徒の補助員は使わない。
- ・ 競技役員に、医師を委嘱する。

(2) 大会開催中の注意

●健康観察及び受付

- ・ 受付場所を正面玄関脇に設置。
- ・ 当日の体温及び健康状態を申告する。  
⇒名簿に記入する。  
⇒必要に応じて、非接触体温計で検温を行う。
- ・ 選手と同様、健康状態が悪い、感染疑いの人との接触がある場合は、役員をしない。

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・ 原則マスクを着用する。
- ・ 医務については、フェイスシールド、使い捨て手袋、を使用する。
- ・ 中継所整理員でフィニッシュ後に倒れ込んだ選手に対応する役員は、フェイスシールド及び使い捨て手袋を使用する。
- ・ アルコール消毒を、役員入り口、中継所、最終 W-up 場、野球場入り口、荷物置き場に設置するので、適宜消毒を行う。

●飲食・ゴミについて

- ・ お弁当のゴミは、各自で持ち帰る。回収を行わない。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも 100% の感染防止をすとお約束することは難しいと思われます。万が一、新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。

●チェックリスト

場面	会場・運営の工夫	選手の注意事項	役員の注意事項
会場	選手陣地待機場所の指定。		会場部：朝テープ貼り。昼入れ替えの確認。
招集	<input type="checkbox"/> A、B 招集所をバックスタンド正面に設置 <input type="checkbox"/> 選手間の距離が最低 1 m 開くように設置 <input type="checkbox"/> 招集後の動線の限定 <input type="checkbox"/> 荷物袋、ナンバー表示を設置	<input type="checkbox"/> マスクを着用 <input type="checkbox"/> 荷物を 1 つ袋に入れて、ナンバーがわかる所定の用紙を見えるように入れる <input type="checkbox"/> 必要以上の話をしない <input type="checkbox"/> 付き添い等は禁止	<input type="checkbox"/> ナンバーカードのチェックは、下から見て行う。 <input type="checkbox"/> 全員揃ったら、中継までの流れの説明。(招集担当) ⇒説明後移動
荷物置き	<input type="checkbox"/> 荷物置き場は、学校ご NO 順に設置 <input type="checkbox"/> 1 m 以上の距離を取れるようにする <input type="checkbox"/> 袋にナンバー表示を行い、他の人と混同しないようにする。 <input type="checkbox"/> 雨天時はテントを立てる。	<input type="checkbox"/> 荷物は、一つの袋の中に入れて管理 <input type="checkbox"/> 荷物の見えるところに、ナンバー表示 (大会所定) を入れる。 <input type="checkbox"/> 他の人のものには触れない。	<input type="checkbox"/> 荷物置き場に留まらせない (マーシャル) <input type="checkbox"/> 整理整頓に努めさせる。
最終 W-up	<input type="checkbox"/> ゲート 2～4 にかけてコーンやハードルで囲い、なるべく大きくする。	<input type="checkbox"/> 最終待機場所に入るまでは、マスク着用 <input type="checkbox"/> 水分補給をこまめに行う。	<input type="checkbox"/> マスクの着用を促す (マーシャル)
中継所	<input type="checkbox"/> 中継線は 2 4 m とし、1 m ごとにマークをつける <input type="checkbox"/> 先頭のラスト 1 k m 通過をトランシーバーで報告。報告後選手にマスクを外させ、最終待機場所へ移動 <input type="checkbox"/> 最終待機場所は NO 順に並び、1 m の距離を開ける。 <input type="checkbox"/> ラスト 2 0 0 m 地点からマイクを使って呼び出し。	<input type="checkbox"/> 先頭ラスト 1 k m 通過のアナウンスで最終待機場所へ移動。 <input type="checkbox"/> ラスト 2 0 0 m の呼び出し+目視で中継線に入る。※団子の場合呼び出しがないことも有 <input type="checkbox"/> 1 m ごとのマークがあるので、それを目安として、他の選手との距離を開ける。 <input type="checkbox"/> 空いている場所に入って行く。 <input type="checkbox"/> 前区間の選手を大きな声で呼んだり、応援したりしない。	<input type="checkbox"/> ラスト 1 k m 通過後報告 (監察) ⇒ (マーシャル) 最終 W-up より移動 ⇒ (中継所役員) 最終待機場所整列 <input type="checkbox"/> ラスト 2 0 0 m 呼び出し (中継所役員) <input type="checkbox"/> 中継線へ入れる。(中継所役員) ※中継線に入ってから、選手が自分で移動 <input type="checkbox"/> 中継線には、極力役員は入らない。
中継後	<input type="checkbox"/> 中継後外側に抜けさせて、そのまま野球場前及び野球場内の手洗い場に誘導。 <input type="checkbox"/> 手洗い、洗顔を行う。	<input type="checkbox"/> 中継後はすぐに外側に抜けて、手洗い、洗顔を行う。 <input type="checkbox"/> 荷物置き場に移動し、速やかに自陣地に戻る。	<input type="checkbox"/> 中継後選手の誘導 (中継所役員) <input type="checkbox"/> 荷物置き場に留まらせない。(マーシャル)